

釧路森林資源活用円卓会議（第1回全体会）について

1. 開催日時 2021年(令和3年)4月26日(月) 13:30~15:10
2. 開催場所 釧路市交流プラザさいわい1F多目的ホール
3. 参加人数 構成員13名 オブザーバ4名 事務局7名
4. 会議の概要

・事務局である釧路市より、2020年度(令和2年度)の取組内容、第4期の改題解決に向けたロードマップ、2021年(令和3年度)に取組予定の事業について報告を行った。



【主な2020年度(令和2年度)の実績報告(事務局)】

- ・川上部会研修「GPSとGISの連携の実践」を開催(資料1)
- ・商品企画研究会の活動を開始(資料2)
- ・木工教室の開催(資料3)
- ・農村都市交流センター(山花温泉リフレ)に木製品等の展示スペースを設置(資料4)
- ・くしろ木づなフェスティバル2019ウッドデザイン賞受賞(資料5)

【課題解決に向けたロードマップ】

2018年度(平成30年度)からの第3期の取組結果を踏まえ、2021年度(令和3年度)より第4期として3年間のロードマップを作成し取組を進めることとした。

全体の課題として「森林環境譲与税の効果的な活用」、川上部門として「担い手の確保・育成」「森林資源の齢級構成の平準化に向けた進捗管理と検討」「スマート林業への対応」「コンテナ苗の導入」、川下部門として「建築物等への木材利用促進」「工業技術センターを核とした製品開発」、普及啓発として「消費者理解の醸成」「域外利用の推進PR」の課題解決に向けて取組を進めていく。

【主な2021年度(令和3年度)の事業計画(事務局)】

- ・北の森づくり専門学院における地域実習への協力
- ・スマート林業への対応に向けた研修会の開催
- ・JAS構造材個別実証事業の活用(資料6)
- ・商品企画研究会の開催(資料7)
- ・2021年度事業イベント等実施スケジュール(資料8)
- ・森林認証制度の情報収集・検討(資料9)
- ・森林環境譲与税について(資料10)



【2021年度(令和3年度)事業計画等についての意見】

- ・木工・設計・製材関係の若手が集まった商品開発研究会の取組を実施。今後も開発製品のブラッシュアップに努め、商品化を目指していきたい
- ・担い手の確保については、林業を知ってもらう取組やスマート林業の取組など、若い人が林業に興味を持ち、定着しやすいような取組を行っていきたい
- ・市有林における齢級構成の平準化やコンテナ苗の植栽など、現地検討会などを実施していきたい
- ・現場作業については、チェーンソー伐倒が危険なので、何とか改善したいと考えているところ
- ・当面の作業員の確保に苦労している。林業は3重苦・4重苦の作業環境でありなかなか人が集まらない